

27 城 市 支 第 197 号
平成28年(2016年)3月31日

特定非営利活動法人
市民共同発電をひろげる城陽の会
代表 土居 靖範 様

城陽市長 奥田 敏晴



要望について (回答)

平成28年2月16日付けでご要望のありましたことについて、下記のとおり回答します。

記

[要望事項]

1. 防犯灯のLED化の節電、温暖化防止への貢献を、市民へもっとアピールしてください。

平成26年度に防犯灯(蛍光灯20w型)6,648灯を、すべてLED化(8w型)され、CO2の削減212,374kg、節電50%以上、寿命も4倍になるなど、温暖化防止に貢献したことを、広報紙等でもっと市民にアピールしてください。城陽市内の企業の製品を採用し、工事も城陽市内の4業者を採用したことは、市民から歓迎されています。

また、一部未交換の防犯灯(蛍光灯)は、灯具の寿命に合わせその都度交換していくことについても、あわせて周知してください。

[回答]

防犯灯のLED化による電気使用量の削減効果については、平成27年第3回定例会における総務常任委員会において、城陽市環境マネジメントシス

テム実施結果と併せて報告を行い、報道機関へも資料を提供しています。

なお、同報告書については市のホームページにも掲載しています。

[担当課：環境課]

[回答]

平成26年度に実施いたしました防犯灯のLED化につきましては、当時の議会への報告や、自治会長会議での説明、工事に際しての各自治会の皆様への通知、地元各紙への掲載などにより、その効果等について市民の皆様方のご理解を得てきたものと考えています。現時点では特に広報等への掲載は考えていません。

なお、現在までに、約8,100灯の防犯灯のうち水銀灯やナトリウム灯を除く通常の蛍光灯約6,800灯すべてをLED化しています。水銀灯やナトリウム灯のLED化は、すぐには考えていませんのでご理解願います。

[担当課：管理課]

[要望事項]

2. 学校その他公共施設の蛍光灯、街灯や公園の水銀灯、ナトリウム灯のLED化を提案します。

「城陽市地球温暖化対策実行計画」に基づき、早期のLED化を提案します。提案する施設は、節電、温暖化防止効果が大きい①学校その他の公共施設、②街路・公園の水銀灯680灯、ナトリウム灯860灯です。試算した結果、大きな省エネ効果があるの見込まれます。LED化に際しては、既存の器具を有効活用すれば費用は大きく抑えられます。ぜひ前向きに検討をお願いします。

[回答]

本市では、市が一事業者及び消費者としての立場から、自らの事務事業に伴って発生する環境負荷の低減に率先して取り組むために、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく「地球温暖化防止対策に係る実行計画」であるエコプランを策定しています。

平成25年度からの第3期エコプランにおいては、「城陽市環境基本計画」「城陽市独自環境マネジメントシステムJ-EMS（ジェイムス）」に基づき、照明に関する重点取り組みとしては、○LEDなど高効率照明器具へ更新する、○街灯のLED化を検討する、○ダウンライトのLED化を進める、などを実施しています。

[担当課：環境課]

[回答]

学校施設等の省電力化の取り組みについては、児童・生徒の安全安心の観点を基本に計画的に進めてまいります。

[担当課：教育総務課]

[回答]

市役所庁舎につきましては、平成21年度から執務スペースの高効率照明器具への取り替えに取り組んでおり、加えて、LED照明器具の普及が進んできた平成25年度から、執務スペースのLED照明器具への取り替えを毎年順次実施しているところです。また、平成22年度には市役所前駐車場の外灯について、LEDソーラーライトを設置しています。

[担当課：総務情報管理課]

[回答]

道路や公園の照明のLED化は、環境負荷の低減や経済的には価値があるものですが、LED化のためには、新たな器具の追加やそのスペース、また電気配線の見直しなども必要となってきます。さらに既存器具そのものにも経年劣化が認められるものもあります。このようなことから、灯具交換時にLED化を行ってまいりますのでご理解願います。

[担当課：管理課]

[要望事項]

3. 施設、器具の選定、費用確保などについて、市民の参画を求めるようにしてください。

LED化について、市内の全施設や全地域で一斉に行うことは、費用の点などから困難であると思われますので、温暖化防止等に関する市民意識の高揚という点からも、市民の参画を求め、地域や施設ごとに協議・話し合い等の手立てを講じるようにしてください。

また、費用の確保については、市民出資（市民ファンド、住民参加型地方債など）の方法も検討してください。

[回答]

市の公共施設につきましては、市の事業者としての地球温暖化防止の取り組みを示した「第3期城陽市エコプラン」における重点取り組み事項に基づいて、各施設の管理者がLEDなど高効率照明器具への年次的な更新に取り組んでいます。

[担当課：環境課]

[回答]

ご提案いただきました住民参加型地方債等は、一般的に低利で資金調達ができる制度ではありますが、借入れ金利が低位で推移している中では、調達コストを考慮いたしますと、銀行等からの借入れが最も有利な方法です。今後も最も有利な方法を検証しながら資金調達方法を決定してまいります。

[担当課：財政課]

平成26年度 事業評価シート

事業名	街灯維持管理整備事業		事業類型区分	4	公共施設(維持)
部署名	都市管理部	課名	係名		
課名		管理課	整備係		

●事業の位置付け

総合計画・施策分類			区分	章		節	施策
			主	第1章 安心・安全のまちづくり	第3節 犯罪のないまちをつくる		(3)安全な都市環境づくり
			関連する位置				
法的根拠			●あり ○なし	防犯灯等整備対策要綱			
関連する計画等			●あり ○なし	第9次城陽市交通安全計画			
市長公約			●あり ○なし	2. 安心・安全、福祉先進都市・城陽を実現します			
事業期間			開始				終期設定(終了予定)
			●昭和	○平成	ー	年度	○ある
事業主体			●市	○国	○府	○民間	○その他

●事業の概要

事業目的 (だれを、どのような状態にしたいのか、どのような効果を俾ようとしているのか)	市民の夜間における交通事故防止対策及び防犯対策、また、維持管理経費の軽減と地球温暖化抑制効果、CO ₂ 削減により良好な住環境をつくる。					
事業概要 (事業目的を達成するために、だれに、何を行うのか)	公衆用街(路)灯を新設等により整備するとともにその維持管理を行う。 (平成15年度から自治会管理街灯は全て市に移管) 防犯灯のLED化の実施及び主要道路等の道路照明や特殊な形の照明のLED化の検討。					
平成26年度に行う特記事項 (改革・改善内容等)	平成26年6月 市内防犯灯(約6,700灯)のLED化工事を実施。(同年10月完了)					
事業方法	☒ 直営	☒ 委託	☐ 協働	☐ 補助	☐ 貸付	☐ その他()
これまでの事業の経緯 (改革・改善等の取り組み経過等)	平成15年度 自治会管理街灯の移管を受け、従前の市管理街灯と併せた一元化管理を実施し、30業者へ街灯維持管理業務を委託した。(平成25年度末現在:25業者) 平成15年度 市管理街灯の全件調査を実施した。 平成25年度 地域の3地区において試行的に21灯のLED街灯を設置した。					

平成26年度 事業評価シート

事業所	業部課名	街灯維持管理整備事業				事業類型区分	4	係名 整備係	公共施設(維持)
		都市管理部		課名 管理課					
		部名	課名						
●事業の推移									
事業量(活動指標)		会計名		会計		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
(a)	単位	平成25年度	一般	平成26年度	平成27年度				
新設街灯数	灯	22		22		22	22	22	
維持管理街灯数	灯	8,133		8,155		8,177	8,199		
コスト	(b)	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事業費	(A)		39,346	139,883	26,666	26,666			
	特定財源	0	106,900	0	0	0			
財源内訳	一般財源	39,346		32,983	26,666	26,666			
	正規職員数(人日)	400		400	120	120			
正職人件費	(B)	12,140		11,516	3,455	3,455			
総事業費	(A)+(B)	51,486		151,399	30,121	30,121			

●評価指標				経年、他市等比較			
視点	指標名	算式	単位	測定年度	指標値	平成20年度 平成21年度 平成22年度	平成23年度 平成24年度 平成25年度
効果 (事業が果たした効果を示します)	維持管理街灯数		灯	25	8,133	7,971灯 7,993灯 8,026灯	8,048灯 8,111灯
効率性 (単位当たりコストが基本となります:b/a)	管理街灯1灯当たりコスト	総事業費/管理街灯数 (51,486千円/8,133灯)	円	25	6,331円	5,788円 5,629円 5,476円	5,550円 5,501円

平成26年度 事業評価シート

事業所	業 部 課 名	街灯維持管理整備事業		事業類型区分	4	
		部名	課名		係名	公共施設(維持)
		都市管理部	管理課		整備係	

●今後の方向性(改革・改善方向)

前回評価時の改善案及び2次評価コメントに対するこれまでにの取組内容	①既設街灯の球切れ等に対し、毎年、各自治会宛に街灯の支障状況について連絡されるよう書面を送付することで、積極的な通報に向けた啓発を行った。また、通報のあったものについては迅速な現状確認のもと支障解消に努めた。 ②防犯対策や環境対策等を推進するため、試行設置したLED街灯を検証のもと、市内防犯灯(約6,700灯)のLED化を行った。この取り組みにより、年間で電力量約44万kWh、CO ₂ 約158t-CO ₂ 、電気代約830万円が削減できる見込みである。
事業目的を達成する課題	照度アップ等による交通事故防止対策やCO ₂ 削減による環境対策の推進等のために、水銀灯・ナトリウム灯等の道路照明等についてもLED化の検討が必要である。
今後の改革改善案	水銀灯・ナトリウム灯等の道路照明は、球切れに伴い随時LED照明に交換する。また、文化パルク城陽周辺の景観を配慮した照明については、文化パルク建設時の照明計画等を考慮し、新たな照明設備の選定を検討する。

●今後の方向性(総合評価)

理由	
1 次 評 価 (各 部 評 価)	☐ 拡大・充実 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 市民の安全安心な生活を確保するとともに、環境負荷の低減を図るため、防犯灯以外の道路照明灯等のLED化に向けた検討を進める。
2 次 評 価 (評 価 委 員 会)	☐ 拡大・充実 ☒ 継続 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 課題改善を前提に事業を継続する。
コメント	
今後の事業評価の実施	
● 継続 ○ 終了	
次期評価時期	
平成27年度	

●別途添付資料 (評価の内容を具体的に示す資料等を添付する)